【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-502339(P2005-502339A)
【公表日】平成17年1月27日(2005.1.27)
【年通号数】公開・登録公報2005-004
【出願番号】特願2003-521262(P2003-521262)
【国際特許分類】
　Ｃ１２Ｎ　15/09　　(2006.01)
　Ａ６１Ｋ　　9/107　(2006.01)
　Ａ６１Ｋ　39/00　　(2006.01)
　Ａ６１Ｋ　39/35　　(2006.01)
　Ａ６１Ｋ　39/39　　(2006.01)
　Ａ６１Ｐ　37/08　　(2006.01)
　Ｃ０７Ｋ　14/435　(2006.01)
　Ｃ１２Ｎ　　1/15　　(2006.01)
　Ｃ１２Ｎ　　1/19　　(2006.01)
　Ｃ１２Ｎ　　1/21　　(2006.01)
　Ｃ１２Ｎ　　5/10　　(2006.01)
　Ａ６１Ｋ　38/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｃ１２Ｎ　15/00　　ＺＮＡＡ
　Ａ６１Ｋ　　9/107
　Ａ６１Ｋ　39/00　　　　Ｈ
　Ａ６１Ｋ　39/35
　Ａ６１Ｋ　39/39
　Ａ６１Ｐ　37/08
　Ｃ０７Ｋ　14/435
　Ｃ１２Ｎ　　1/15
　Ｃ１２Ｎ　　1/19
　Ｃ１２Ｎ　　1/21
　Ｃ１２Ｎ　　5/00　　　　Ａ
　Ａ６１Ｋ　37/02

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月3日(2005.3.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　野生型アレルゲンと比較してアレルゲン活性が有意に低下している、組換えヤケヒョウヒダニ（Dermatophagoides pteronyssinus）DerP1またはProDerP1（DerP1/ProDerP1）タンパク質アレルゲン誘導体。
【請求項２】
　熱処理されている、請求項１に記載の組換えDerP1/ProDerP1誘導体。
【請求項３】

遺伝的に変異されている、請求項１に記載の組換えDerP1/ProDerP1誘導体。
【請求項４】
以下のDerP1変異の１つ以上を含む、請求項３に記載の組換えDerP1/ProDerP1変異体：システイン４残基の変異、システイン31残基の変異、システイン65残基の変異、システイン71残基の変異、システイン103残基の変異、およびシステイン117残基の変異。
【請求項５】
配列番号３、配列番号５、配列番号７、配列番号９、配列番号11、配列番号13よりなる群から選択されるいずれかの配列を有する組換え変異体アレルゲン。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか１項に記載のアレルゲンの変異体をコードする単離された核酸分子。
【請求項７】
コドン使用パターンは高度に発現される哺乳動物遺伝子のコドン使用パターンに似ている、請求項６に記載の核酸配列。
【請求項８】
請求項６または７に記載の核酸を含有する発現ベクター。
【請求項９】
請求項６もしくは７に記載の核酸配列または請求項８に記載のベクターで形質転換された宿主細胞。
【請求項１０】
請求項１～５のいずれか１項に記載の組換えタンパク質もしくは変異体アレルゲン、または請求項６～８のいずれか１項に記載のコードポリヌクレオチド、そしてアジュバントを含むかまたは含まない免疫学的組成物。
【請求項１１】
アジュバントは、Th1型免疫応答の優先的刺激物質である、請求項１０に記載の免疫学的組成物。
【請求項１２】
アジュバントは、3D-MPL、QS21、CpGオリゴヌクレオチド、ポリエチレンエーテルもしくはエステルの１つ以上、またはこれらのアジュバントの２つ以上の組合せを含む、請求項１０または１１に記載の免疫学的組成物。
【請求項１３】
アレルゲンは、水中油または油中水エマルジョンビヒクルで提供される、請求項１０から１２のいずれか1項に記載の免疫学的組成物。
【請求項１４】
医薬中で使用される本明細書に記載の免疫学的組成物。
【請求項１５】
アレルギー治療のための医薬の製造における、請求項１～５のいずれか１項に記載の組換えタンパク質または変異体アレルゲンの使用。